

広島大学における教員の採用最低基準（農学・生物学）

- ・基準は「農学・生物工学」、「農業経済学」、「生物学」で別に定める。
- ・研究業績の指標には、主に「G-index」、「SCI 論文数」を用いる。

【農学・生物工学】

Web of Science データにより国際標準を確保する。助教の採用の規準について G-index は馴染まないことから、SCI 論文数を基準とする。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 7$	$G \geq 6$	$G \geq 5$	
SCI 論文数	15 以上	10 以上	7 以上	1 以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授、講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
G-index	$G \geq 10$	$G \geq 9$	$G \geq 6$	$G \geq 8$	$G \geq 5$
SCI 論文数	25 以上	20 以上	10 以上	15 以上	7 以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)
設定なし。

【農業経済学】

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 2$	$G \geq 1$	$G \geq 1$	
学術論文・著書数	15 以上	10 以上	7 以上	1 以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授、講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
G-index	$G \geq 3$	$G \geq 2$	$G \geq 1$	$G \geq 1$	$G \geq 1$
学術論文・著書数	25 以上	20 以上	10 以上	15 以上	7 以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)
設定なし。

(3)その他

○新規採用基準・テニユア審査基準の研究業績

指標：G-index(Google Scholar を参照；助教の新規採用を除く)及び「SCI, SSCI, A&HCI 論文」, 「広島大学人文社会系学術雑誌推薦リスト論文(HU_AHSS)」, 「SCOPUS 論文」, 及び日本学術会議報告(農業経済学分野における研究業績について)を参考にした「査読付き論文(学術団体として登録された全国規模以上の諸学会機関誌等)」と「著書」の数を指標に含める。著書については、日本学術会議報告を参考にして、学術誌等での書評の掲載、学会賞受賞、国内外の学術機関による編集等の客観的な評価ができるものと判断されたものを学術論文と同等に扱う。単行本(単編著)は、その内容に応じ学会誌論文の5~10本程度に評価する。助教の採用の基準についてG-indexは馴染まないことから、学術論文・著書数を基準とする。

【生物学】

(1)新規採用のための最低基準

指標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	G \geq 7	G \geq 5	G \geq 4	
SCI論文数(筆頭者, 責任著者, それに準ずる)	8以上	5以上	4以上	1以上
国際性(国際会議招待講演数, 国際会議開催数, 国際学会での発表, 海外での競争資金, 国際共同研究などの件数)	3件以上	2件以上	2件以上	1件以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
G-index	G \geq 7	G \geq 6	G \geq 5	G \geq 5	G \geq 4	G \geq 4
SCI論文数(筆頭者, 責任著者, それに準ずる)	8以上	7以上	5以上	5以上	5以上	4以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

指標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
外部資金	代表として1件以上					
国際性(国際会議招待講演数, 国際会議開催数, 国際学会での発表, 海外での競争資金, 国際共同研究などの件数)	3件以上	2件以上	2件以上	2件以上	2件以上	1件以上
教育(博士課程前期・後)	有	有	有	有	有	問わない

期の学生を指導した経 験を有すること)						
------------------------	--	--	--	--	--	--

